



ディフェンス上達のこつ (6)

今まで5回ディフェンスの基本方針について解説してきましたが、ここでディフェンスの問題を考えてみましょう。基本方針を確認すると同時に、個々のディフェンスのテクニックと考え方を勉強するためです。

1) コントラクト: 4H オープニングリード S10

♠ AQ			
♥ Q93	ダミー		
♦ QJ108			
♣ AKQJ			
		♠ 6543	
♠ 10		♥ AK62	
		♦ K73	
		♣ 98	

ディクレアラーはSAで上がりH3をダミーから出します。特に慌ててトップランプで上がる必要がないのでスモールを出します。ディクレアラーはHJで上がって、さらにスモールランプを続けます。パートナーは1回目はフォローしましたが、2回目はダイヤモンドのカモンシグナルが出てきます。今度はHKで取って、さてどうしますか？

2) コントラクト4H どのようなディフェンス方針をとりますか？

♠ 5
♥ 9875
♦ K9764
♣ A93

ビッドは自分の右から
1H-1NT; 3C-3H; 4H///
でした。自分がリードです。どのような方針の下に何をリードするのでしょうか？

3) コントラクトは6H どのようなディフェンス方針をとりますか？

♠ K74
♥ 54
♦ 109873
♣ A62

ビッドは左から
1C-1H; 3C-3H; 4H-6H
でした。自分がリードです。どのような方針の下に何をリードするのでしょうか？

解答

1) ディクレアラーはランプ2ルーザーあることはわかっているだろう。したがってスペードにKがないならば当然フィネスするだろう。しなかったということはKを持っていると推測できる。またすぐにランプを上がないということはパートナーがシングルトランプなら2トリック目にパートナーからのシグナルを見るためにすぐ取らないというテクニックを使うことも良い。さてダイヤモンドのカモンが出たということはDAを持っていることを示す。ディクレアラーが2枚ダイヤモンドを持っていたら即ダウンするが、しかしシングルトンだったらどうだろう。もしスモールダイヤモンドを出してパートナーのAを先に取らせると帰ってくるダイヤモンドはラフイングフィネスに掛かりエスタブリッシュさせてしまう。せっかくディクレアラーのランプを自分と同じ枚数ににすることができても、さらに短くさせる種が無くなってしまいメークされてしまう。したがって自分のDKを先に取ってからスモールダイヤモンドを出してラフされてもDAを温存すれば1ダウンする。

パンピング方針

2) ランプが4枚あり、しかも相手のメインスートであるクラブにAを持っている。これはパンピングの方針をとるべき絶好の条件である。パンピングできる可能性のあるスートはダイヤモンドしか無くダイヤモンドのxをリードする。夢スペードシングルトンをリードしてはいけない。なぜなら仮にパートナーがSAお持ちで、1つラフできてももう1回パートナーに入るエントリーが必要である、それもすぐに取れるエースで無ければならない。ビッドからいって、ディクレアラー側に1エースしかないとは考えられない。したがってスペードをラフしようとする方針は誤りである。

パンピング方針

3) ビッドからダミーに強力なサイドスート=クラブがあり、ディクレアラーの方針はできるだけ早くランプを刈って、次にそのクラブのAを追い出して後クラブを取るというものに違いない。CAで一度こちらにテンポが移ってくるはずだからそのタイミングでこちらに1ウィーナーを作り出しておけばダウンする。手っ取り早くウィーナーが作れるのはスペードであろう。パートナーにQがあれば良いのだから。だからアタッキングリードであるSxをリードすべきである。SAQを持たれていて振り込む危険は問題にならない。なぜならどうせクラブがエスタブリッシュされてその下にディスクードされてしまうものだからである。

アタッキング方針